

陸上輸送コストの削減とともに 首都圏を含む北関東の交通混雑を緩和

ひ た ち な か
file09 **常陸那珂港**

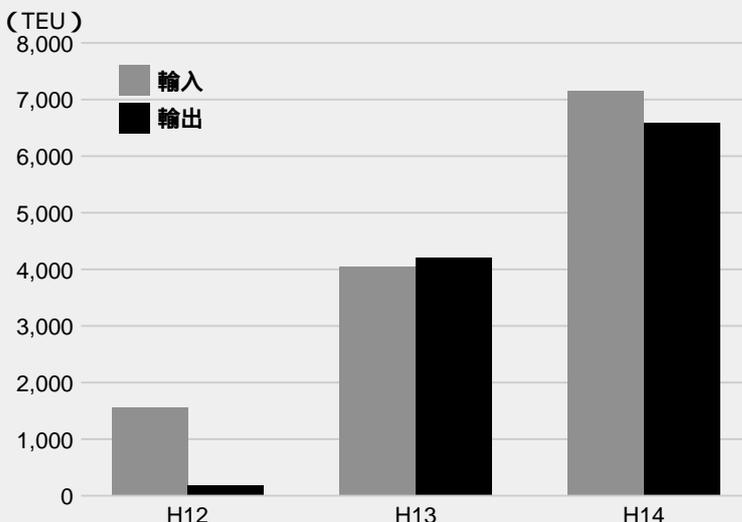
対象施設 北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル 岸壁（-14m、-12m）
供用 平成12年

常陸那珂港に国際海上コンテナターミナルを整備することにより、北関東地方等を生産、消費地として
いる貨物を近隣港で取り扱うことが可能となった。

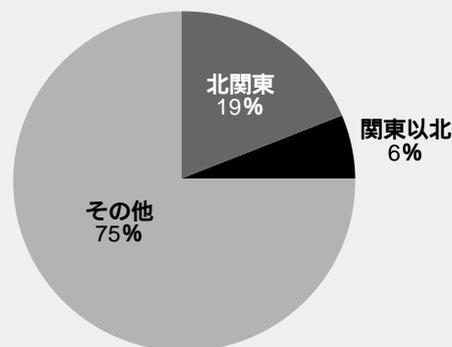
大手家電メーカーであるA社では、従来は中国の上海で製造した日本向けの洗濯機を東京港までコンテナ
で海上輸送し、陸送にて国内の流通拠点である日立市まで搬入していたが、常陸那珂港に外貿コンテナ
船が就航したことによって、陸送距離が約130km短縮され、40ftコンテナ1個当たり約4万円（従来比
70%削減）のコスト削減となったほかに貨物の到着時間に対する確実性が向上した。



●常陸那珂港のコンテナ取扱量推移

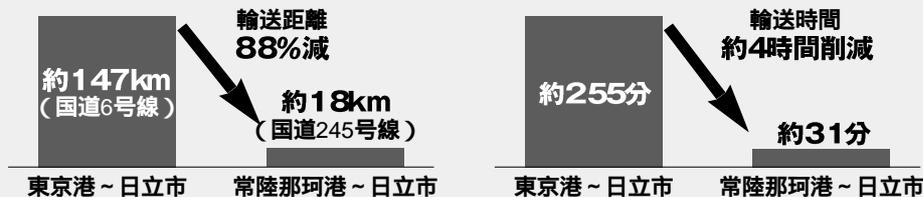


●東京湾外貿コンテナ取扱量に占める北関東及び関東以北発着貨物の割合



第2部
個別港湾事例

●輸送距離及び輸送時間の削減効果



●荷役作業中のコンテナ船「ウエストウッド号」

